

ミライアル株式会社

**2026年 1 月期第 2 四半期
決算説明資料**

2025年 9 月 8 日



1. 2026年1月期第2四半期決算概要
2. 2026年1月期第3四半期業績予想
3. 「中期成長戦略2028」の取組み
4. 参考資料

- 1. 2026年1月期第2四半期決算概要**
2. 2026年1月期第3四半期業績予想
3. 「中期成長戦略2028」の取組み
4. 参考資料

売上高	6,340百万円	前年同期比	10.3%減
-----	----------	-------	--------

営業利益	334百万円	前年同期比	60.0%減
------	--------	-------	--------

当期純利益※	283百万円	前年同期比	53.0%減
--------	--------	-------	--------

設備投資額	531百万円	前年同期比	69.8%減
-------	--------	-------	--------

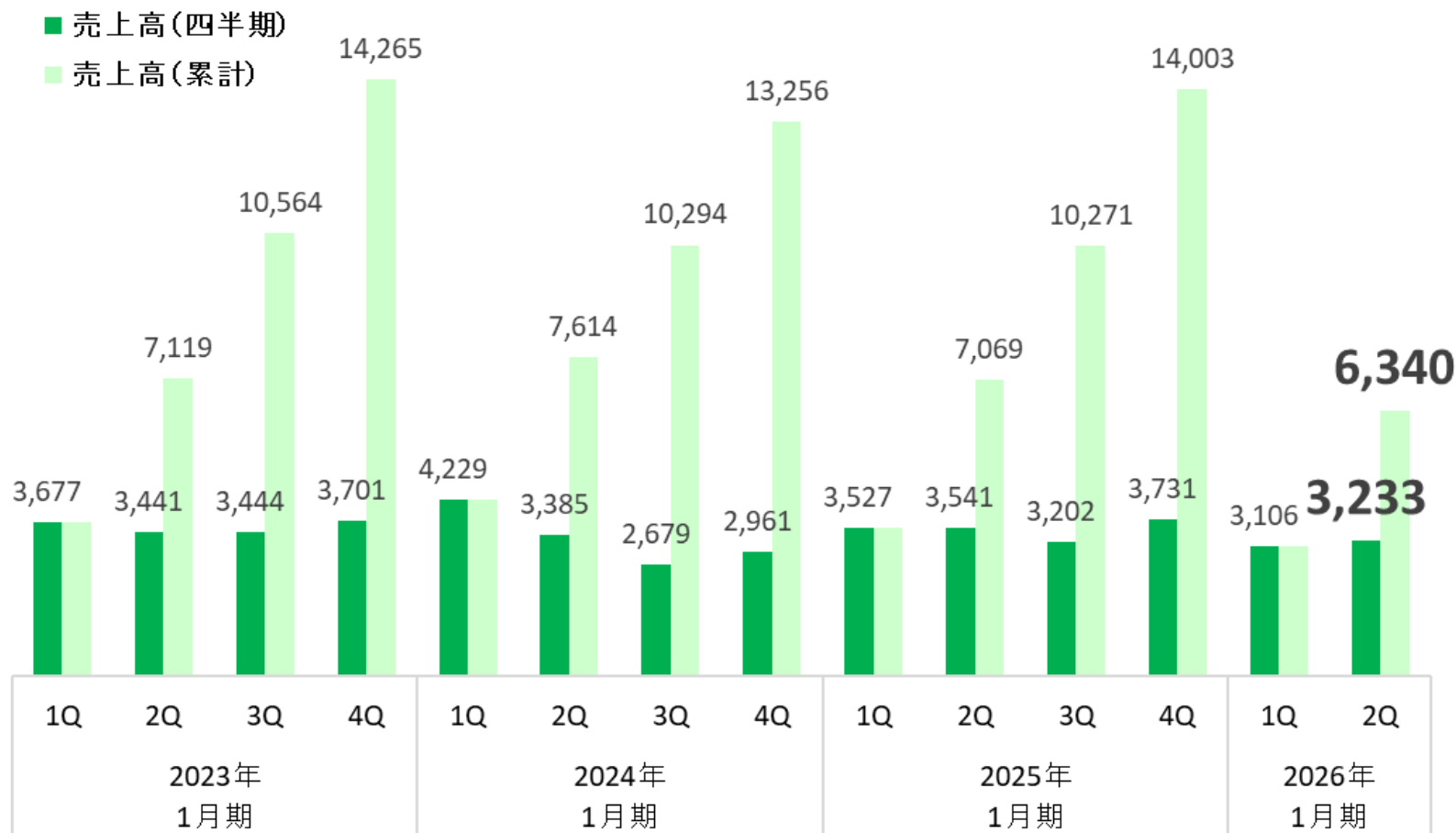
減価償却費	673百万円	前年同期比	24.8%増
-------	--------	-------	--------

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す

連結売上高推移

Miraial

(単位:百万円)

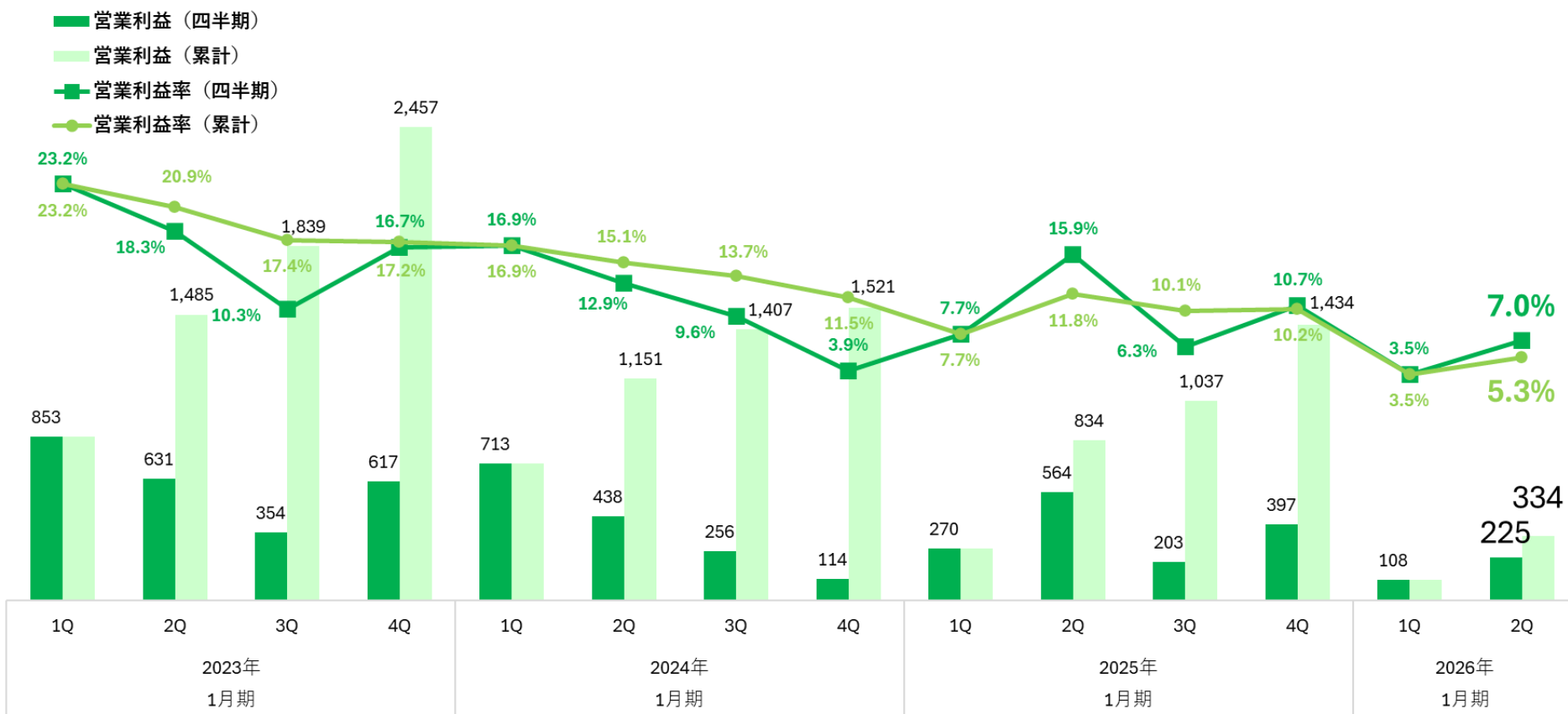


プラスチック成形事業は、昨年来の半導体市場の在庫調整が概ね底打ち
成形機事業は、自動車業界に一部不透明感はあるが受注状況は安定

連結営業利益推移

Miraial

(単位:百万円)

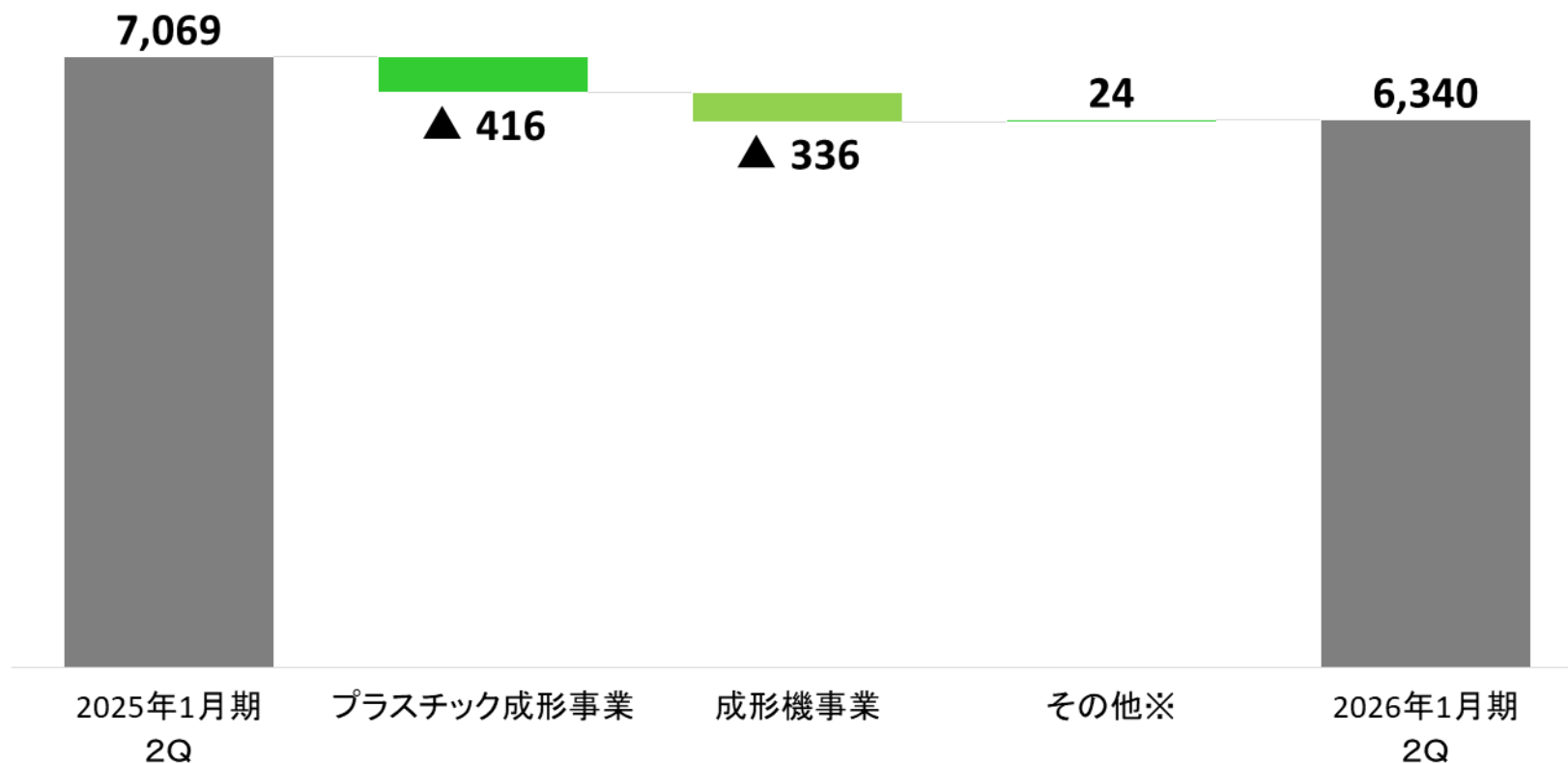


プラスチック成形事業は、半導体市場全体として緩やかな回復基調が継続
 成形機事業は、一部不透明な状況は継続するが受注状況は緩やかに回復

売上高 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)

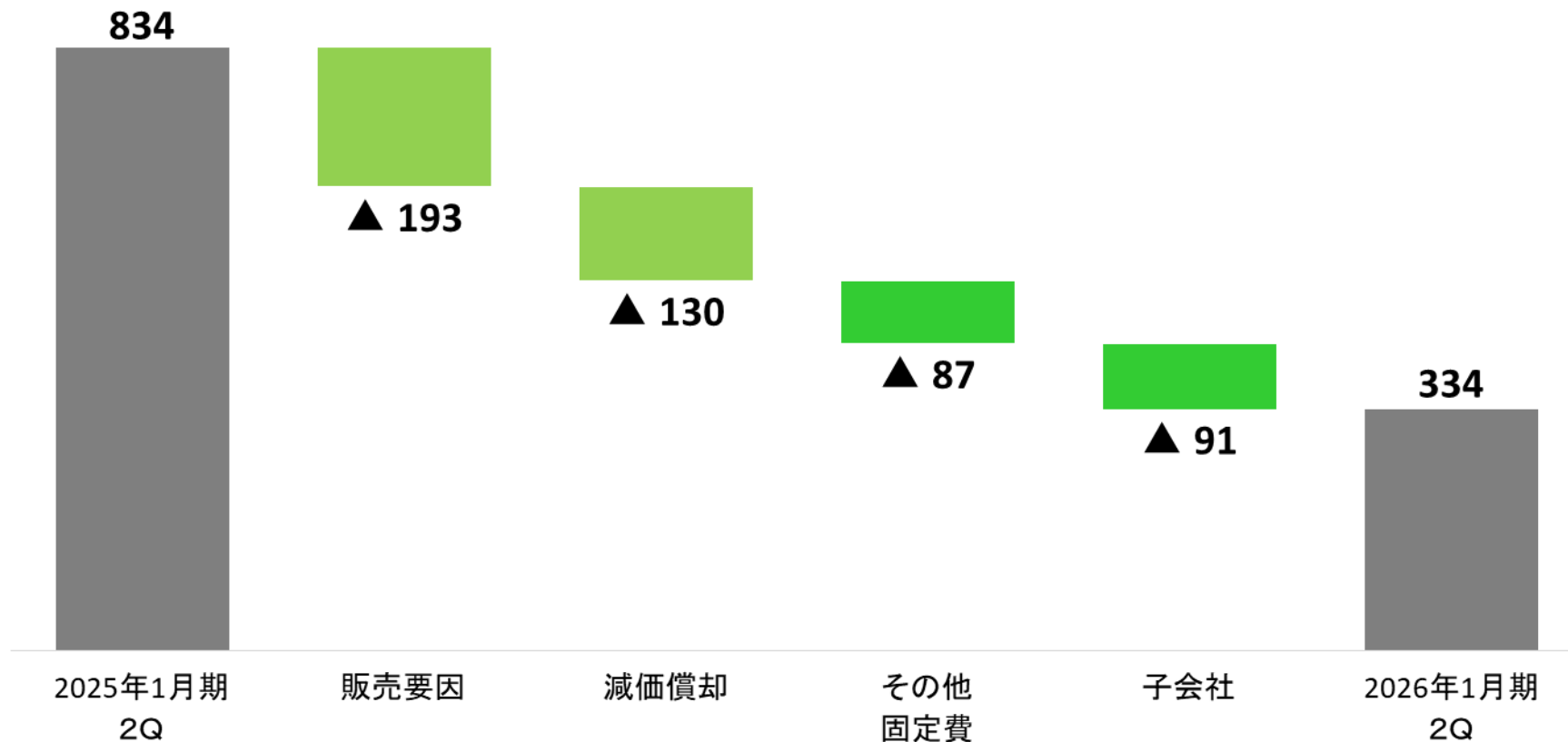


※その他：セグメント間取引消去や報告セグメントに帰属しない費用等

営業利益 増減要因分析

Miraial

(単位:百万円)

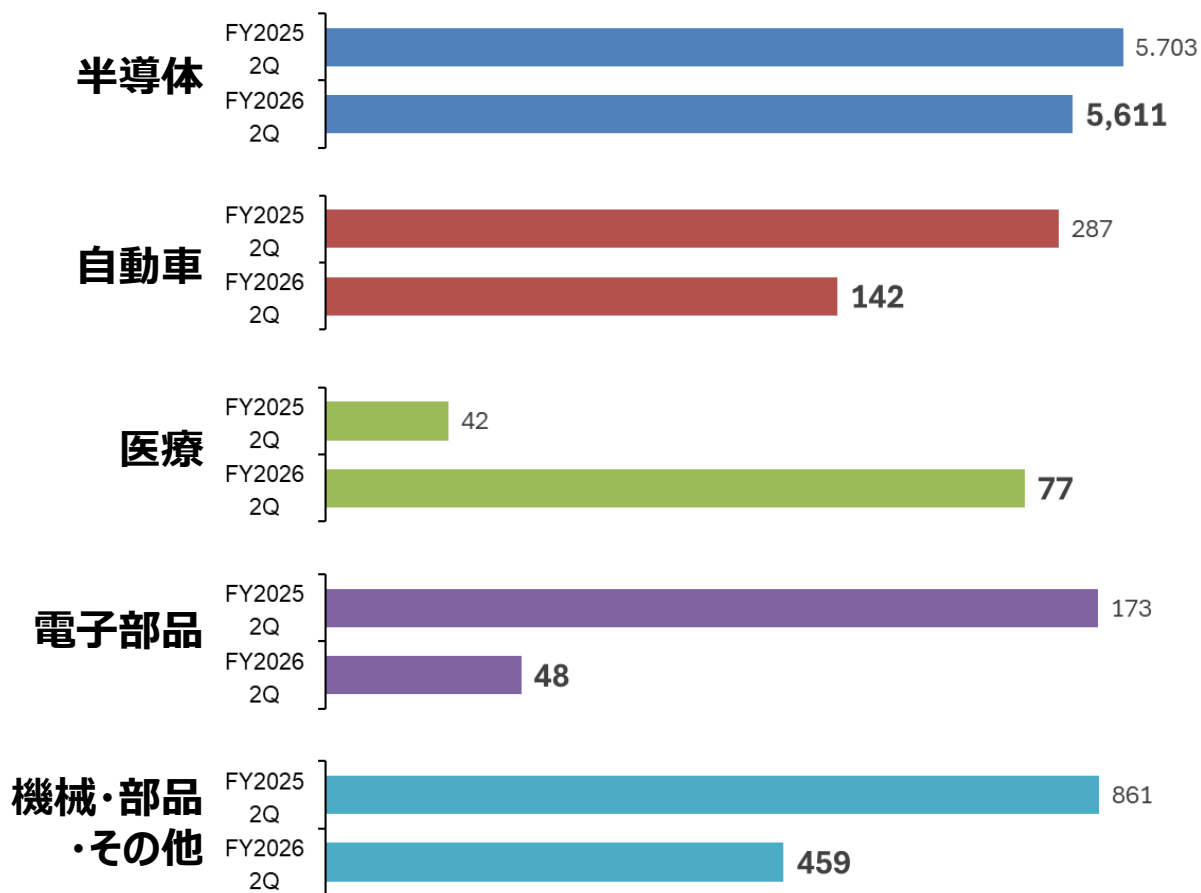
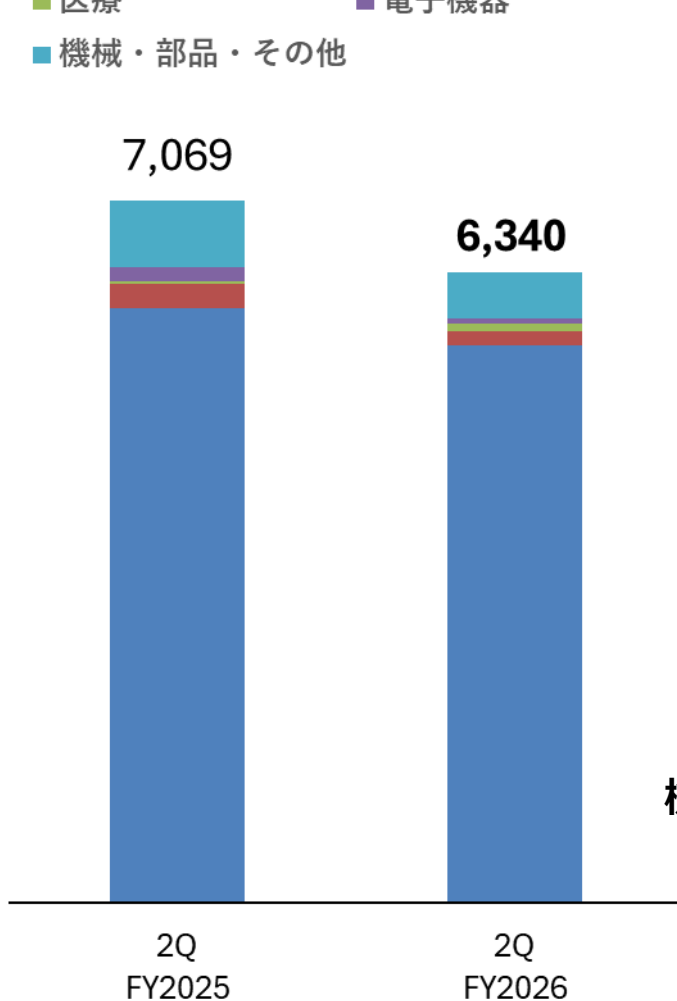


市場別 売上高内訳

Miraial

(単位:百万円)

- 半導体
- 自動車
- 医療
- 電子機器
- 機械・部品・その他



連結損益計算書

Miraial

単位：百万円	2026年 1月期2Q	2025年 1月期2Q	増減率
売上高	6,340	7,069	▲10.3%
売上総利益	1,244	1,677	▲25.8%
販売管理費	910	843	7.9%
営業利益	334	834	▲60.0%
営業利益率	5.3%	11.8%	▲6.5pts
経常利益	362	871	▲58.4%
特別利益	—	20	—
特別損失	2	18	▲88.1%
当期純利益※	283	603	▲53.0%

※当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

連結貸借対照表

単位：百万円	2026年 1月期	2025年 1月期	増減
流動資産	11,000	12,929	▲1,929
固定資産	15,479	15,592	▲113
総資産	26,479	28,522	▲2,042
流動負債	3,326	5,492	▲2,165
固定負債	531	533	▲2
純資産	22,621	22,496	124
(内) 利益剰余金	21,748	21,645	103
自己資本比率	85.4%	78.9%	6.5pts

連結キャッシュ・フロー計算書

Miraial

単位：百万円	2026年 1月期2Q	2025年 1月期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	1,812
（内）減価償却前税引前損益	1,031	1,413
（内）法人税等の支払額	▲276	▲9
（内）仕入債務の増減額（▲は減少）	▲660	328
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,594	▲1,934
（内）固定資産の取得による支出	▲1,592	▲1,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲189	▲193
（内）配当金の支払額	▲180	▲180
現金及び現金同等物の期末残高	5,369	6,449

セグメント別業績ハイライト

Miraial

売上高

セグメント利益又は損失（▲）

プラスチック
成形

5,675百万円
(前年同期比 6.8%減)

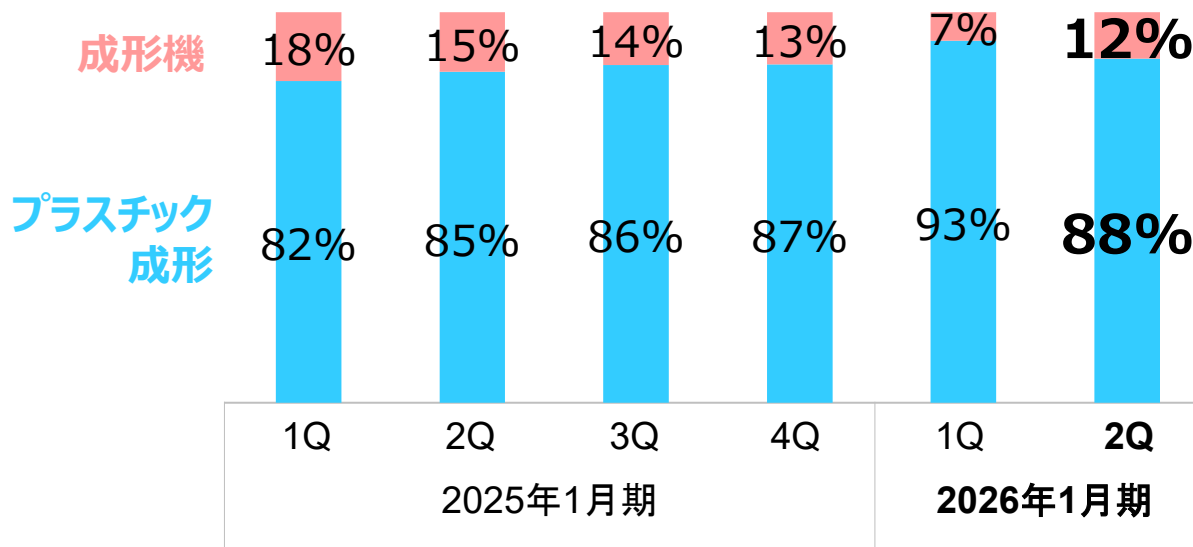
602百万円
(前年同期比 41.8%減)

成形機

763百万円
(前年同期比 30.6%減)

72百万円
(前年同期比 52.7%減)

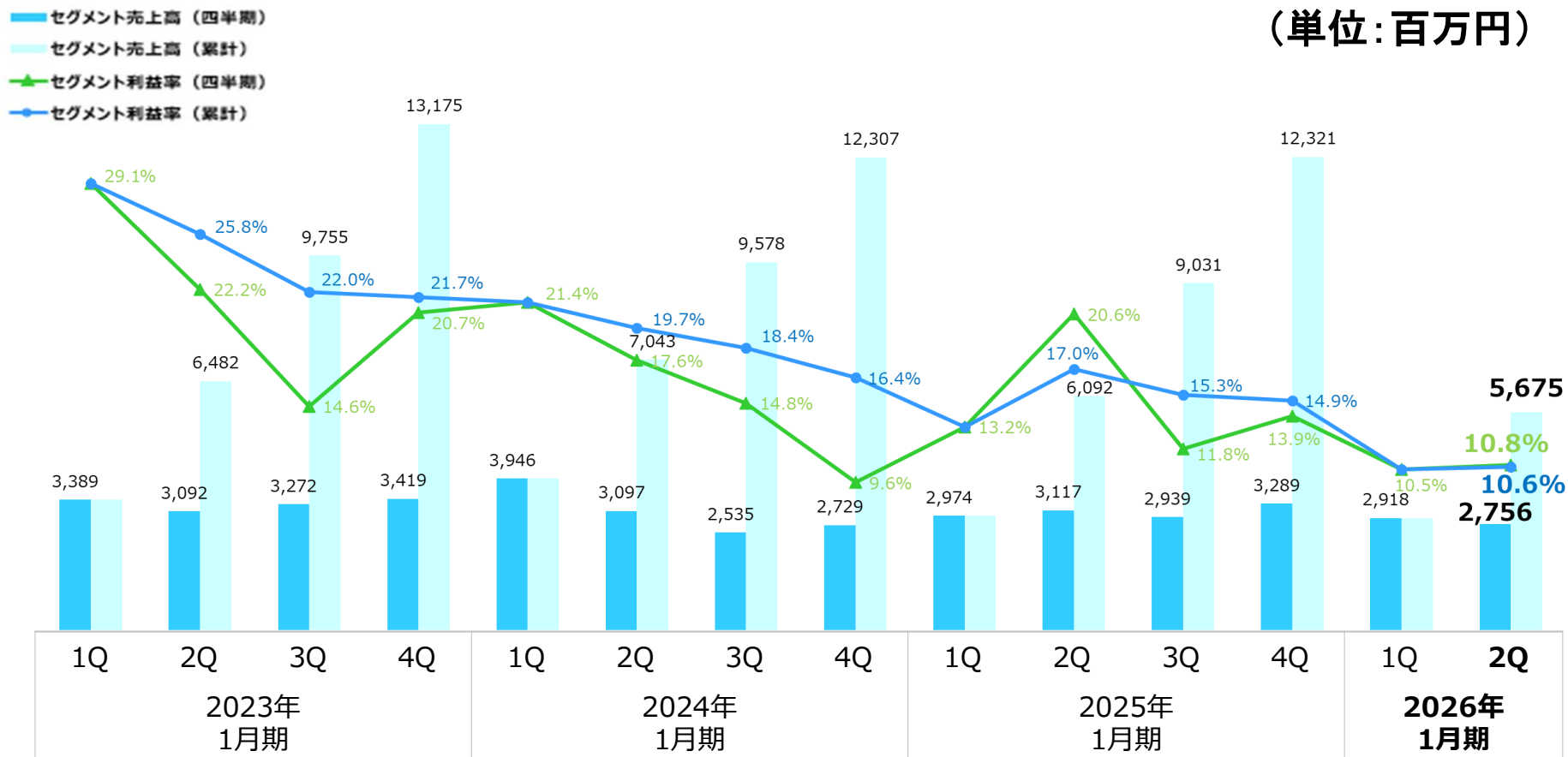
売上高構成比



セグメント別業績 –プラスチック成形–

Miraial

(単位:百万円)



半導体関連製品:半導体市場は強弱はありながらも、全体として緩やかな回復傾向は継続
AI、IoT関連分野等の先端品の需要は旺盛
スマートフォンやパソコンを中心とした既存品の需要回復には一定の時間が必要

その他関連製品

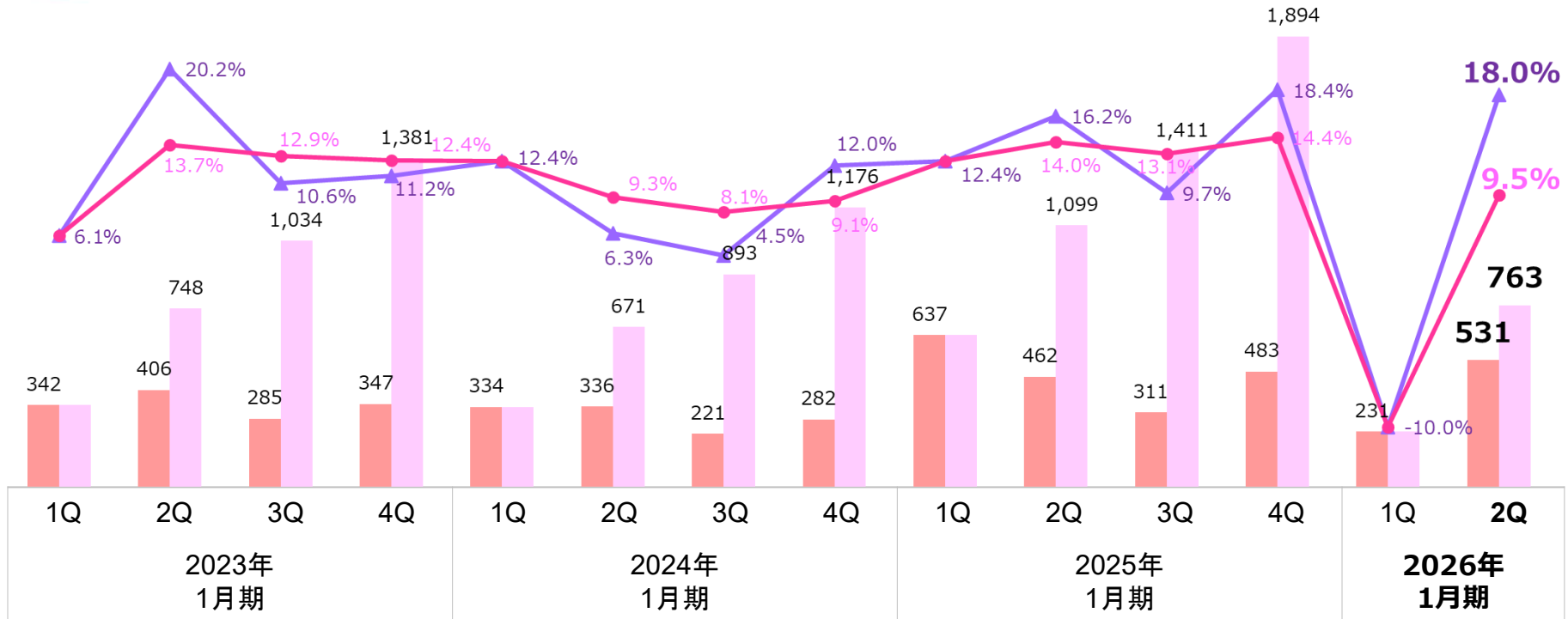
自動車関連、電子機器等が減少傾向

セグメント別業績 -成形機-

Miraial

(単位:百万円)

- セグメント売上高 (四半期)
- セグメント売上高 (累計)
- セグメント利益率 (四半期)
- セグメント利益率 (累計)



自動車業界の動向など一部不透明な状況は継続するが、
受注状況・部品供給状況は安定、緩やかに回復継続

1. 2026年1月期第2四半期決算概要
- 2. 2026年1月期第3四半期業績予想**
3. 「中期成長戦略2028」の取組み
4. 参考資料

2026年1月期第3四半期業績予想等

Miraial

単位：百万円	2026年1月期			2025年1月期	
	3Q累計 (予想)	増減額 (対前年同期)	増減率 (対前年同期)	3Q累計 (実績)	通期 (実績)
売上高	9,500	▲772	▲7.5%	10,271	14,003
プラスチック成形事業	8,480	▲552	▲6.1%	9,031	12,321
成形機事業	1,190	▲222	▲15.7%	1,411	1,894
内部売上高等調整	▲170	—	▲0.5%	▲170	▲212
営業利益	490	▲548	▲52.8%	1,037	1,434
経常利益	520	▲585	▲52.9%	1,104	1,516
当期純利益※	380	▲437	▲49.8%	756	1,058

[配当予想]

※当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益を示す

	2026年1月期予想	2025年1月期実績
配当金	中間：10円/株 期末：未定	中間：20円/株 期末：20円/株

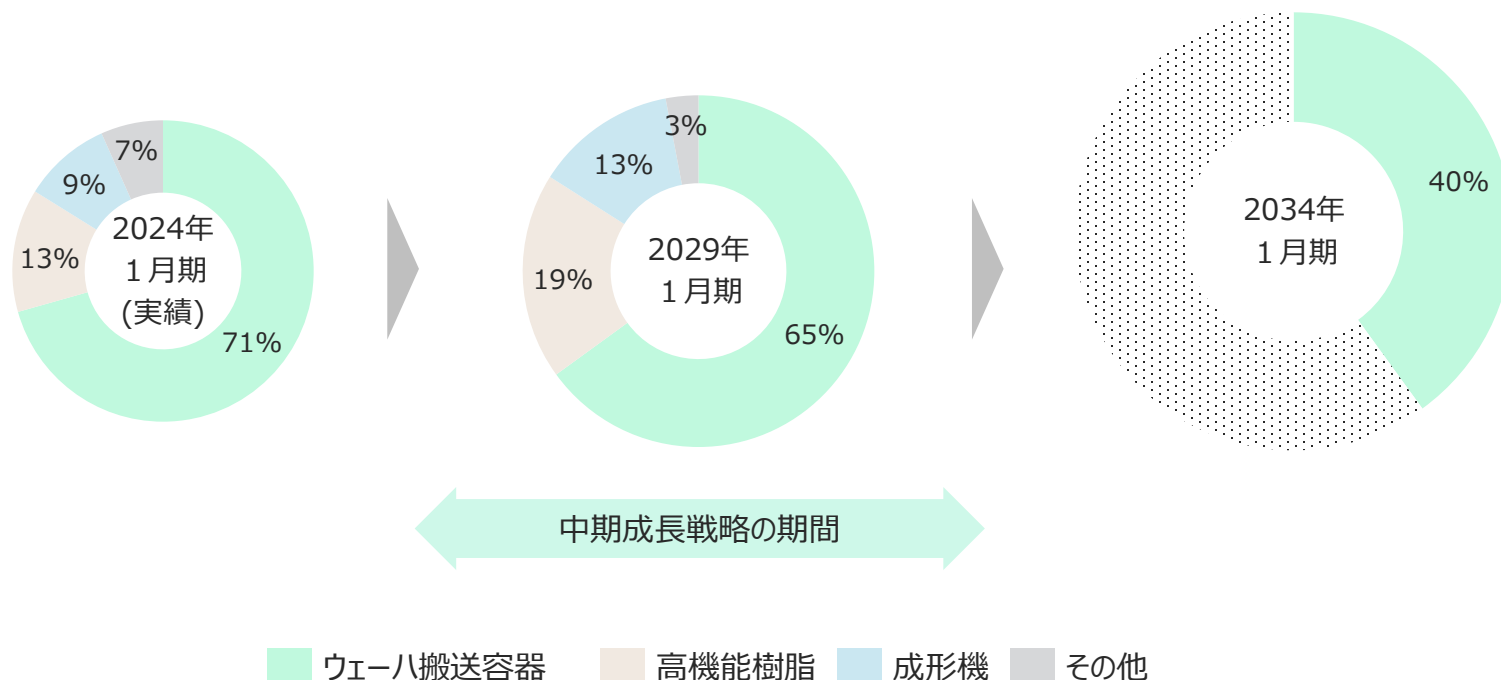
1. 2026年1月期第2四半期決算概要
2. 2026年1月期第3四半期業績予想
- 3. 「中期成長戦略2028」の取組み**
4. 参考資料

第3創業期に向けた事業ポートフォリオの変革

売上の7割をシリコンウェーハ搬送容器が占める事業ポートフォリオを変革し、
2029年度以降の安定的な成長基盤を確立する

10年後に目指す事業ポートフォリオ（売上高）

2033年度にシリコンウェーハ搬送容器以外の第2、第3の柱を構築する

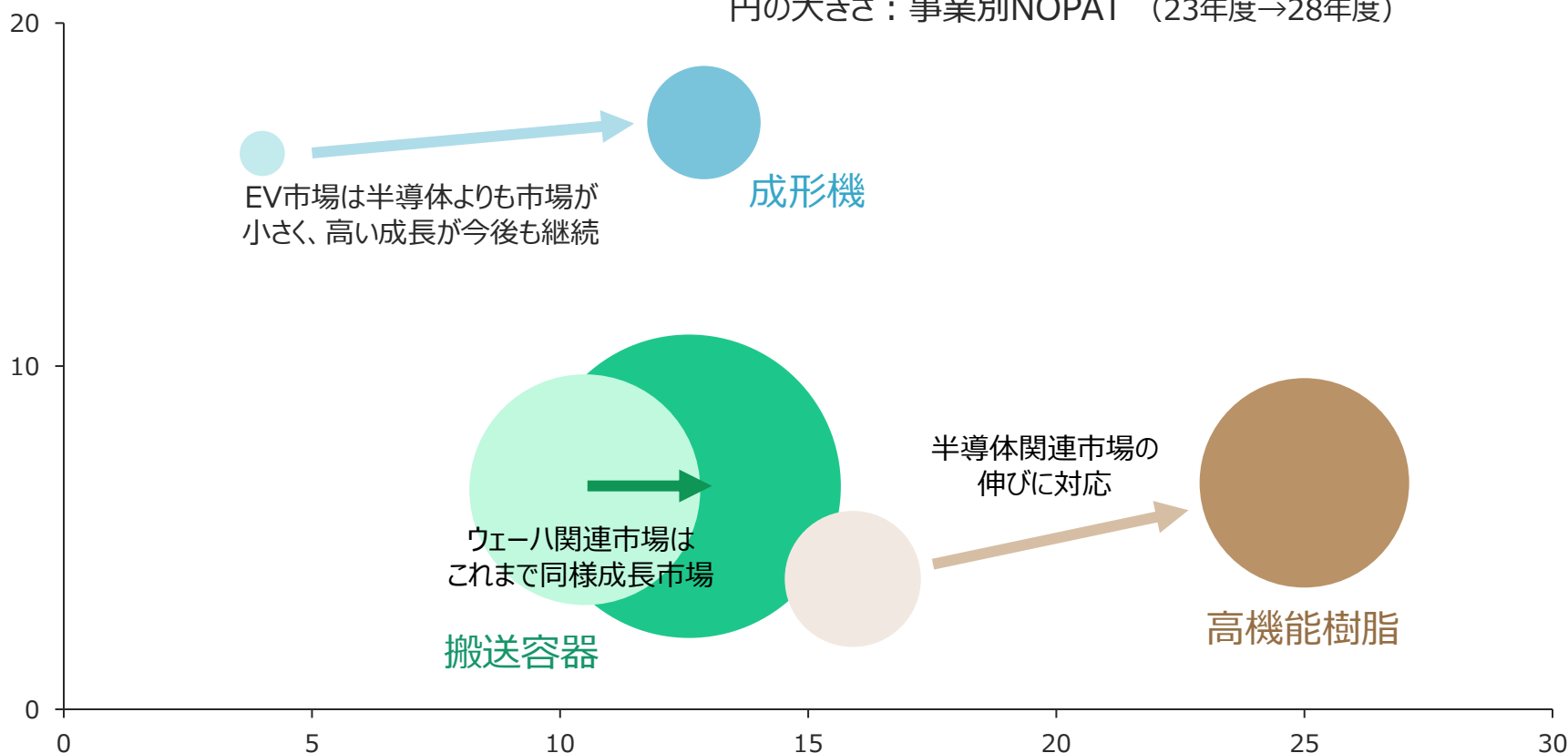


事業ポートフォリオに関する方針

現在の主力であるシリコンウェーハ搬送容器事業を深耕しつつ、成長市場での事業拡大が見込める高機能樹脂製品、成形機の事業に経営資源を振り向ける

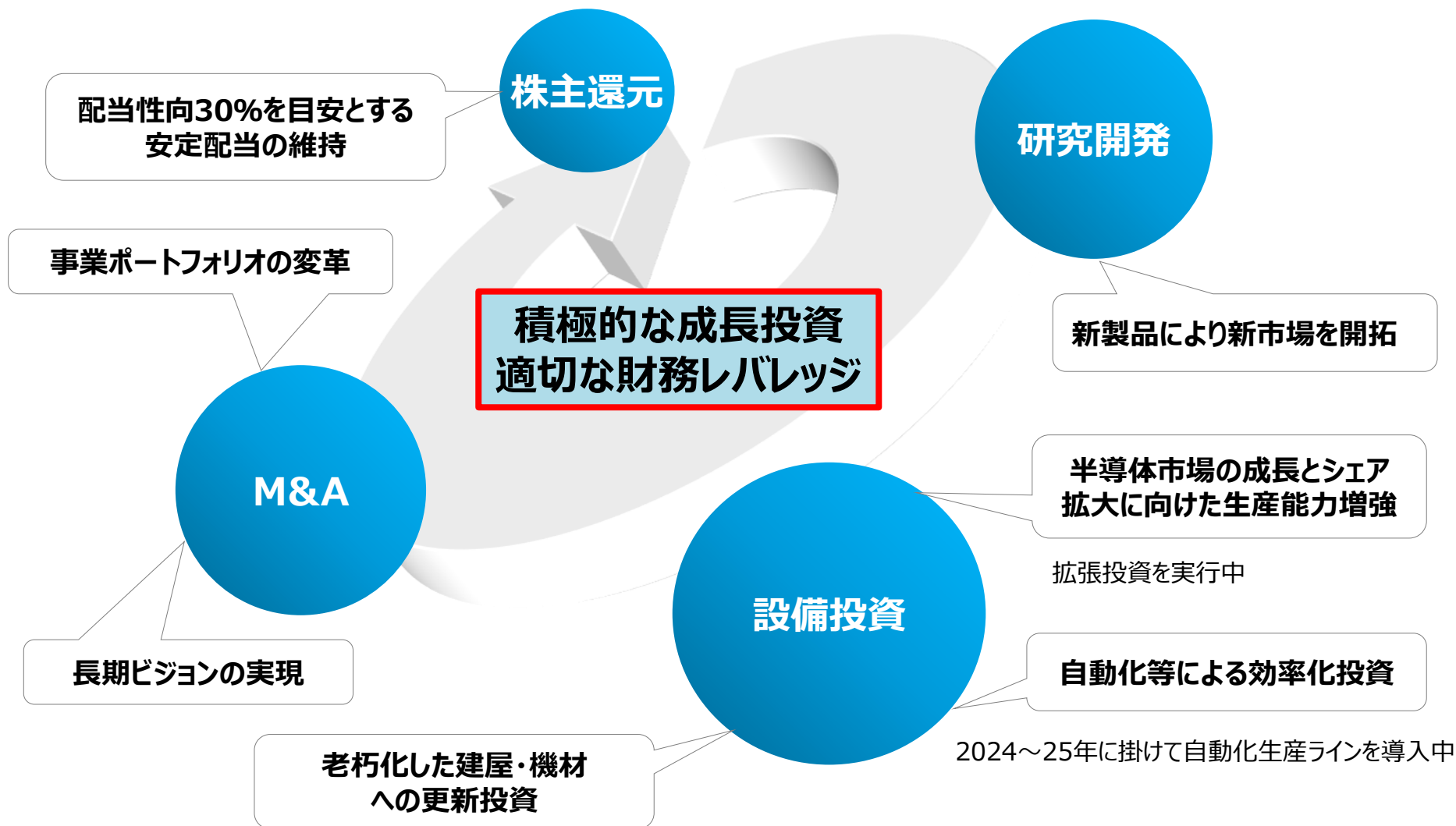
事業セグメント別の24年1月期見込と29年1月期目標

縦軸：市場成長率 [%]（前成長戦略期間→当成長戦略期間）
横軸：事業別ROIC [%]（23年度→28年度）
円の大きさ：事業別NOPAT（23年度→28年度）



※市場成長率はターゲット市場に関する後掲の統計情報をもとに当社推計

中期成長戦略期間のキャッシュアロケーション



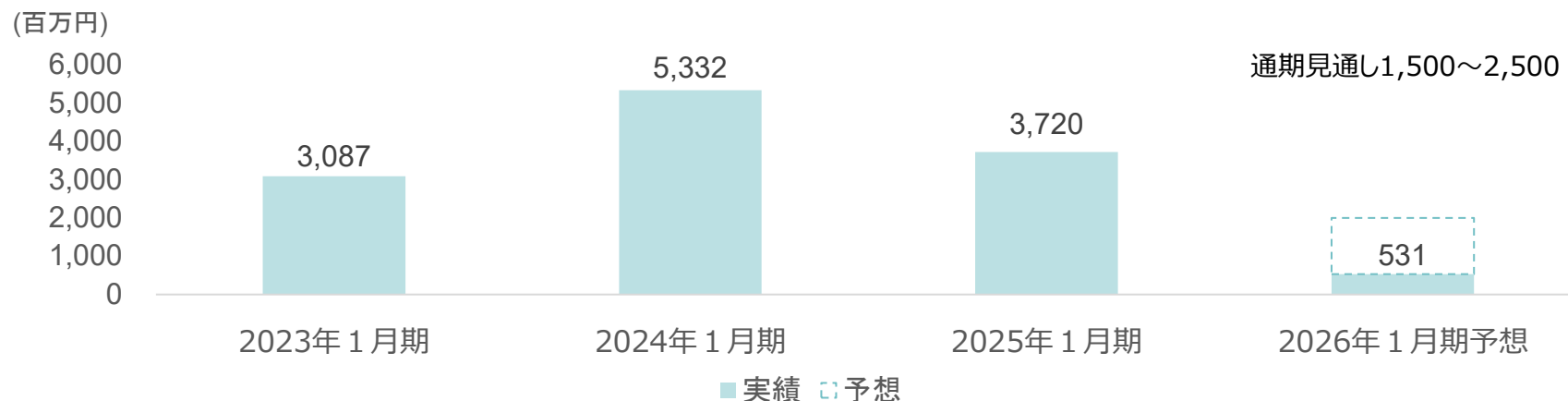
中期成長戦略の数値目標

中期成長戦略の最終年度の2029年1月期（2028年度）に、売上高239億円、ROE11%を目指す

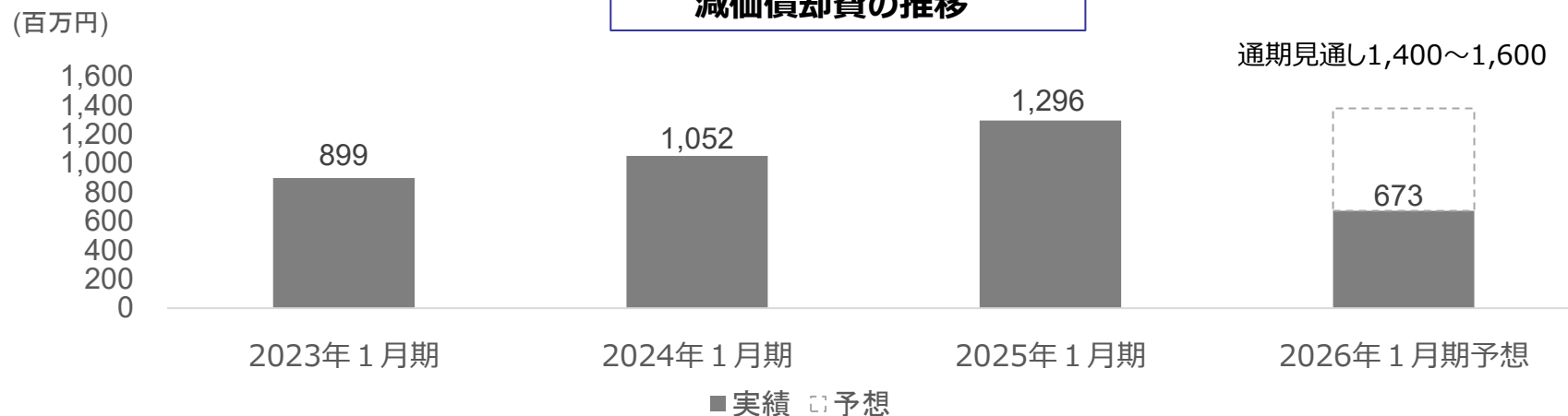
	2024年1月期実績		2029年1月期計画
売上高	132 億円	▶	239 億円
営業利益	15億円	▶	47 億円
営業利益率	11.5 %	▶	20.0 %
ROE	4.8 %	▶	11.1 %
配当性向	30% を目途とする安定配当		

1. 2026年1月期第2四半期決算概要
2. 2026年1月期第3四半期業績予想
3. 「中期成長戦略2028」の取組み
- 4. 参考資料**

設備投資の推移



減価償却費の推移



生産能力増強投資と効率化投資は市場環境を見極めながら順次実施
投資設備の稼働に伴い減価償却費は増加見込

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経営企画部

電話：03-3986-3782 FAX：03-3986-3853

E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。